

北陸も そこそそ例年通りの雪が降り 寒い日も続きましたが 三寒四温の季語の通り 寒暖を繰り返しながら かなり春めいてまいりました。まだ安心は出来ないとは思いつつ 春が近いと思うと うきうきした気分になります。

芽吹く「ふきのとう」や「あさつき」など春の草花が 背伸びを待っているかのようです。

マルジンは？と言えば やはり現場が山岳地であることから 「スノータイヤ→ノーマルタイヤへ交換」が終了するまでは 春が来たという実感はわからないというのが本音ですけれど・・・

マルジンでは いつも 家族も含め誰かしら「インフルエンザ」に罹患し 5～7日休んだりするものですが、今年はゼロ！ こうなるとコロナ対策の「うがい、手洗い、マスク」というのは 完璧にインフルエンザの予防になるのだと 納得！ ずっとマスクですと それだけで酸欠になりそうなぐらいうっとうしいですが もしも自分がコロナにかかって 家族や会社等に感染させたりしたら・・・と思うと とてもマスクは外せないですね。

新型コロナウイルスとインフルエンザのダブルパンデミックが懸念されていましたが、2021年1～2月もインフルエンザの流行入りは確認されなかったようです。調剤レセプトベースで実際の処方動向を把握・分析する医療情報総合研究所のデータによると、1月のインフルエンザ患者数は、16年～20年の直近5年間の1月平均と比較して 1000分の1にとどまったとのこと。インフルエンザ患者数は例年、1月に急増し、2月にピークを迎えるそうですが、今シーズンは 20年12月より21年1月の方が患者数が少なかったことも確認されました。

今年は どうもこのままインフルエンザ発症患者数は抑えられて 過ぎていくような気がします。

「コロナも危険な感染症ではなくインフルエンザ並みの感染症にすべきだ」という 有識者の意見もあります。しかし 治療薬の進歩や まだワクチン接種の浸透がないまま変更するのは 時期尚早だと思えます。まず、重症度の違いです。現状の感染者数はインフルのほうが多いものの、致死率と症状の持続期間を見ると、症状の重さは新型コロナが上回ることが分かります。両者の感染力は大差ないことが分かっているほか、国内ではまだ新型コロナのワクチンがないため、今後新型コロナの感染者数がインフルを上回る可能性があります。

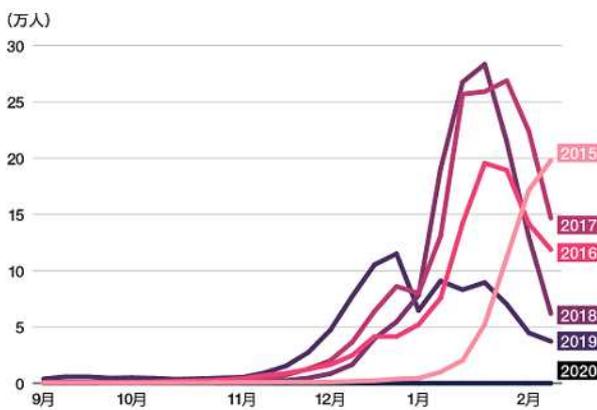
次に、新型コロナの大きな特徴として、無症状率の高さが挙げられます。新型コロナは潜伏期間が長く、一部は無症状のまま治癒しますが、無症状の時期にも強い感染力があります。症状が出てから感染のピークを迎えるインフルとは違い、新型コロナは、症状のない状態でも、既に多くの人にうつしている可能性が高いのです。

息切れや嗅覚・味覚障害は新型コロナの特徴的な症状ですが、必ずしもあらわれるとは限りません。インフルは関節痛や鼻水がひどくなることが多いですが、新型コロナにおいてもこれらの症状があらわれないとは限らないため、症状のみから判断することは危険です「危険な感染症」だとしてきたものを急に「インフルエンザ並みの感染症」に変更すると 抑制のきかないほど感染者数が増え そしてその致死率で 死亡する患者が大きく増えることになりそうです。

オリンピックを踏まえ なんとかそれまでに海外からの渡航者を受け入れることができるようにしたい事と 規制緩和に伴う気のゆるみで また第4波が到来するのでは収集がつかなくなってしまう。折しも現在のクラスターは 変異株が原因のようだとのことです。65歳以上の高齢者へのワクチン接種が4月15日から始まるとのこと。

もう 現在より感染者を増やすことなく 収まっていますように 皆で自粛していきましょう。

2015～2020年の週ごとのインフル患者数の推移



厚生労働省まとめ

nippon.com

マルジ 3月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

～雪が解けて春になって♪～

ずいぶん春めきまして 山の雪も少しずつ 解けてきたようです。 現地踏査の時には 圧雪等危険箇所注意！ 現場再開の時には レールの損傷等注意！ 撤去済み現場では・・・すみません 雪の中で紛失した部材が出てきた場合は すぐにご連絡ください！お願いします。

2021年3月第280回は～運搬用モノレール 何運ぶ??～について

昔から 物を運ぶのにもっとも広く行われてきた方法は「人肩運搬」です。ニンカタ?ヒトカタ?ジンカタ?多分「ジンケンウンパン」というのが正しいと思います。間違っていたらごめんなさい。両手で物を肩に載せてしっかり持ち 運搬する。手が自由になり 荷物も安定するような用具も考えられました。荷物の種類によって、運搬具にもより運びやすいよう改良と工夫が加えられ、背負い縄、背負い袋、背負いかご、背負い梯子・背負い箱、背負いもっこなど、様々な用具が生み出されました。



平坦なところでは 大八車など「人力+運搬具」もしくは「馬・牛+運搬具」など 大量の物資を運搬できるようになりました。しかし 斜面となるとなかなか大変です。切り出した木を方向を定めながら 運搬する時に危険が伴います。多くの人や牛馬が命を落としたことでしょう。今は へり運搬・索道運搬・軽度な斜面では不整地運搬車での運搬、そして モノレール運搬が「物資運搬」を担っております。あ！最近では運搬用ドローンなども開発されていますね。

しかし、物は運んでもそれを動かしたり作業したりする人が必要です。上のいろいろな運搬手段において「人の移動」に関しては 自力で歩く以外はモノレールのみが対応しているといっても過言ではないでしょう。毎日 斜面の離れたところで作業される場合に、道具などを担いながら 歩いて通勤は なかなか過酷です。そんな時は 物資運搬も 200kから 3tまで人員運搬も1名から 24名(特殊モノレールもあります)徐々に 現場作業で利用度が増えてまいりました。



マルジンの小型用の乗用台車 ただいま点検中～～！いつでも 発進OKなように 準備万端整えています。人も物も がんがん運ぶぞ！
↓こちら成人男子が人力で持てる基準となっております。
労働省通達(平成6年9月6日 基発547号)

イ 満18歳以上の男子労働者が人力のみにより取り扱う重量は、55kg以下にすること。また、当該男子労働者が、常時、人力のみにより取り扱う場合の重量は、当該労働者の体重のおおむね40%以下となるように努めること。」「ロ イの重量を超える重量物を取り扱わせる場合には、2人以上に行わせるように努め、この場合、各々の労働者に重量が均一にかかるようにすること。

55k・・・う～む 最近の男子はいかかなものでしょうか？そのうち 変更があるかもしれませんね(笑)え?マルジンマン?「モテル男たち!!」そりゃ 多分持てるはずです(はず・・・ですかえ?・・・)

このように「昔はモッコ 今はモノレール」用途に合わせて モノレールの機種もいろいろとご利用いただいています。今も先だっの地震災害現場でも 当社のモノレールも稼働させていただいているところです

200kタイプ

- *みかん、たけのこ、きのこ、梅などの果実や野菜の運搬
- *斜面に咲く水仙やお茶などの収穫
- *地質調査用ボーリングマシーン運搬

300kタイプ

- *山岳地現場や過疎地の村等への人員移動(3名)
- *物資運搬(電力、地質調査、土木)
- *運転台車+200k平台車での運搬が可能

500kタイプ

- *法面工事
- *ソーラーパネル工事
- *水管塗装作業
- *物資運搬(足場材、作業部材、作業工具、ケーシング)
- *土木工事(ガラ出し、土砂運搬、小作業マシン等)
- *山岳地現場や過疎地の村等への人員移動(5名)

1000kタイプ、2000kタイプ、3000kタイプ

- *各種工事の重量物部材、重機運搬等
- *トンパック等重量物運搬
- *各種アタッチメント台車で運搬物に対応
- *山岳地現場や過疎地の村等への人員移動(～24名)

各機種によって支える重量も違うわけですので レールの形状も違ってまいります。よって 設置する工事も難易度が変わってまいります。ご利用ご検討の方は いつでもご相談ください。当社HPにも機種紹介や「現場アンケート」もございますので ご利用ください。